

たまかわ

1996

10

No.362

空と緑、新、呼吸する——広報TAMAKAWA



秋まつり

さようば、お祭り
お御輿だ
ワッショイ!! ワッショイ!!
送るほど
高く、青い 秋空に
子供たちの声が
こだまする
寒り豊かな黄金色が
まぶしいほど輝く
ワッショイ!! ワッショイ!!
心地よい北からの微風に
祭禮情がゆれる

いつまでもお達者で

平成8年度 玉川村敬老会



招待者は521人

今年の招待者は、75歳から79歳までが256人、80歳以上が265人の合計521人でした。全体で昨年より47人増えました。

アトラクションを 楽しむ

平成8年度の玉川村敬老会が9月15日(敬老の日)に玉川村体育館で行われました。式では、車田村長が式辞を述べたあと、80歳になられた32名の代表、岩谷浩光さん(小高)に年金証書が交付されました。また、今年、共に80歳以上になられた9組のご夫婦や米寿を迎えられた16名の方々に記念品が贈呈されました。

来賓からお祝いのお話をいただき、我妻茂世さん(山小屋)が代表で謝辞を述べました。その後、アトラクションでは、泉・須釜両婦人会の各支部からそれぞれ趣向を凝らした踊りが披露され、楽しいひとときを過ごしました。



村長から記念品を贈られる大越サタさん

90歳以上の
お年寄り
32人

村長が記念品を贈呈

玉川村の90歳以上のお年寄りは、9月15日現在で男9人、女23人の合計32人です。この方々の長寿をお祝いして、9月9日と11日に村長が、それぞれのお宅を訪問して記念品を贈りました。

村内最高齢者は 97歳の 大越サタさん (南須釜)

玉川村の最高齢者は、南須釜の大越サタさんです。明治32年6月21日生まれの97歳です。サタさんは、炊事、洗濯から風呂炊きも自分でするとのこと。「最近は何も多少不自由になっちゃったナイ」と言いながらも元気です。普段は、家の周りの草刈りをしており道具の鎌が玄關脇にずらりと並んでいます。趣味は、テレビ鑑賞で「時代劇と相撲が大好きです」とのことです。

お元気で

90歳以上の長寿者(平成8年9月15日現在)

番号	氏名	生年月日	年齢	世帯主	地区
1	大越サタ	明32・6・21	97	利男	南須釜
2	車田カネ	明33・9・22	95	昭五	小高
3	車田ワキ	明33・11・24	95	英治	川辺
4	野崎ツジ	明34・8・15	95	久夫	川辺
5	吉田綱義	明34・9・26	94	網之	〃
6	高橋兼嘉	明34・9・28	94	兼之	〃
7	関根キヨ	明36・2・7	93	直英	小高
8	佐藤ハルヨ	明36・4・22	93	一男	〃
9	榊枝スエ	明36・7・22	93	雅	南須釜
10	小針イシ	明36・10・24	92	石男	川辺
11	白旗キミ	明36・12・9	92	保雄	〃
12	大野ツメ	明36・12・31	93	貞夫	南須釜
13	鈴木マツヨ	明37・1・11	92	喜一	吉
14	大竹マツヨ	明37・2・26	92	一郎	岩法寺
15	関根ハル	明37・3・23	92	好春	小高
16	大川内ヤイ	明37・5・1	92	辰夫	南須釜
17	有賀シチ	明37・5・7	92	政司	吉
18	須藤利次	明37・5・30	92	利次	川辺
19	矢部ヨシ	明37・9・5	92	正雄	〃
20	真弓ナミ	明37・10・25	92	朋一	蒜生
21	上野リヨ	明38・1・4	91	輝雄	竜崎
22	小林フミ	明38・3・12	91	森男	〃
23	矢吹ハル	明38・4・30	91	広良	川辺
24	岩谷唯二	明38・8・17	91	繁	中
25	及川くによ	明38・10・4	90	小山田光子	〃
26	石森常次郎	明38・11・10	90	勇	山小屋
27	三輪貞夫	明38・11・16	90	和夫	小高
28	溝井貞男	明39・2・20	90	松雄	蒜生
29	眞野目キヨシ	明39・2・27	90	眞衛	南須釜
30	塩沢経雄	明39・6・6	90	馨之進	〃
31	矢部勇太郎	明39・6・17	90	玄信	川辺
32	香取きよ	明39・7・18	90	佐藤和男	〃

(敬称略)

ようこそ、福島県の「玉川」へ

全国玉川町村議会議員交流会



全国玉川町村議会議員交流会

一本村で開催

愛媛県玉川町、埼玉県玉川村と本村の3つの「玉川」の議会議員が本村に集合。平成6年度から毎年1回、各町村が会場持ち回りで行われている全国玉川町村議会議員交流会が、10月1日に本村のマーヴェラス末広を会場に開かれました。

交流会では、高林議長から歓迎のあいさつと本村の概要が説明されました。また、各町村の議長及び首長からあいさつのおと、各議員の自己紹介が行われました。



交流会の様子

村内を視察

交流会では、午後から3町村の各常任委員会のメンバーごとに分かれて本村内の視察が行われました。それぞれ、須釜中学校、福島空港、生産物直売所、ふれあいセンターなどの施設や乙字ヶ滝を視察しました。

スポーツで親睦

玉川村民グラウンドを会場に3町村対抗ソフトボール大会が行われました。各町村とも珍好プレーが続出。快い汗を流し親睦を図りました。なお、当日は、あいにくの雨模様で1試合は中止となりました。



「カキーン、ライト前ヒット」

「ソレっ!!!」村上町長さん(玉川町)の始球式での華麗なるフォーム

生産物直売所にて

第36回

玉川村民体育祭



「ボクは、大きそうな袋がいいなあ」

福島空港マラソンのスタート

「スポーツの秋」を満喫

第36回玉川村民体育祭は、10月6日(日)、さわやかな秋空のもと、玉川村民グラウンドで開かれました。玉川第一小学校の鼓笛隊を先頭に各行政区ごとに入場行進をしたのち開会式が行われました。また、競技に入る前に、来月行われる「ふくしま駅伝」の選手がひとりずつ紹介されました。

競技は、幼児から老人までが参加しての、各種目が行われ、大勢の村民が心地よい汗を流し親睦を深めました。

一中区が優勝

区対抗は、小学生対抗リレーから老人クラブ対抗ゲームまで7種目で行われました。中区は、3種目で1位、その他の種目も全て3位以内という圧倒的な強さで2年ぶりに優勝を飾りました。また、2位は南須釜区、3位は川辺区でした。



「ふくしま駅伝」の選手紹介



バランスが問題です



「おっとっとど……」むずかしそう



「それ、がんばれ!!!」熱烈的な応援

小学生対抗リレーより

平成7年度 決算

一般会計決算報告

平成7年度の一般会計、特別会計、事業会計の決算が、9月定例議会で認定されました。
そのうち一般会計の決算額は、歳入総額33億8,939万円、歳出総額32億9,770万円となりました。平成6年度の決算と比較すると歳入が13.5%、歳出は13.3%の減少となりました。私たちが納めた税金は、どのように使われたのかを見てみましょう。

年度	歳出総額
3	38億3,478万円
4	35億3,257万円
5	35億4,847万円
6	38億 297万円
7	32億9,770万円



特別会計

	歳入	歳出	繰越
国民健康保険	5億0,178万円	4億7,731万円	2,447万円
老人保険	4億5,293万円	4億4,183万円	1,110万円
簡易給水施設	1,868万円	1,795万円	73万円
農業集落排水事業	3億8,131万円	3億7,386万円	745万円
計	13億5,470万円	13億1,095万円	4,375万円

上水道事業会計

収益的		資本的	
収入	事業収益	収入	補償金
	営業収益 9,249万円		3,896万円
	営業外収益 7,477万円		一般会計補助金 2,594万円
支出	事業費用	支出	建設改良費
	営業費用 1億3,287万円		1億3,024万円
	営業外費用 3,206万円		企業債償還金 615万円
純利益	233万円		



歳入

平成7年度一般会計の歳入決算額は、33億8,939万円、平成6年度に比べ5億3,070万円の減少となっています。主な原因として、国庫支出金の3億5,072万円（61.2パーセント）と、村債の1億2,340万円（29.4パーセント）の減があげられます。また、村税が5パーセント、地方交付税が6.2パーセントの増となっています。

7割は依存財源

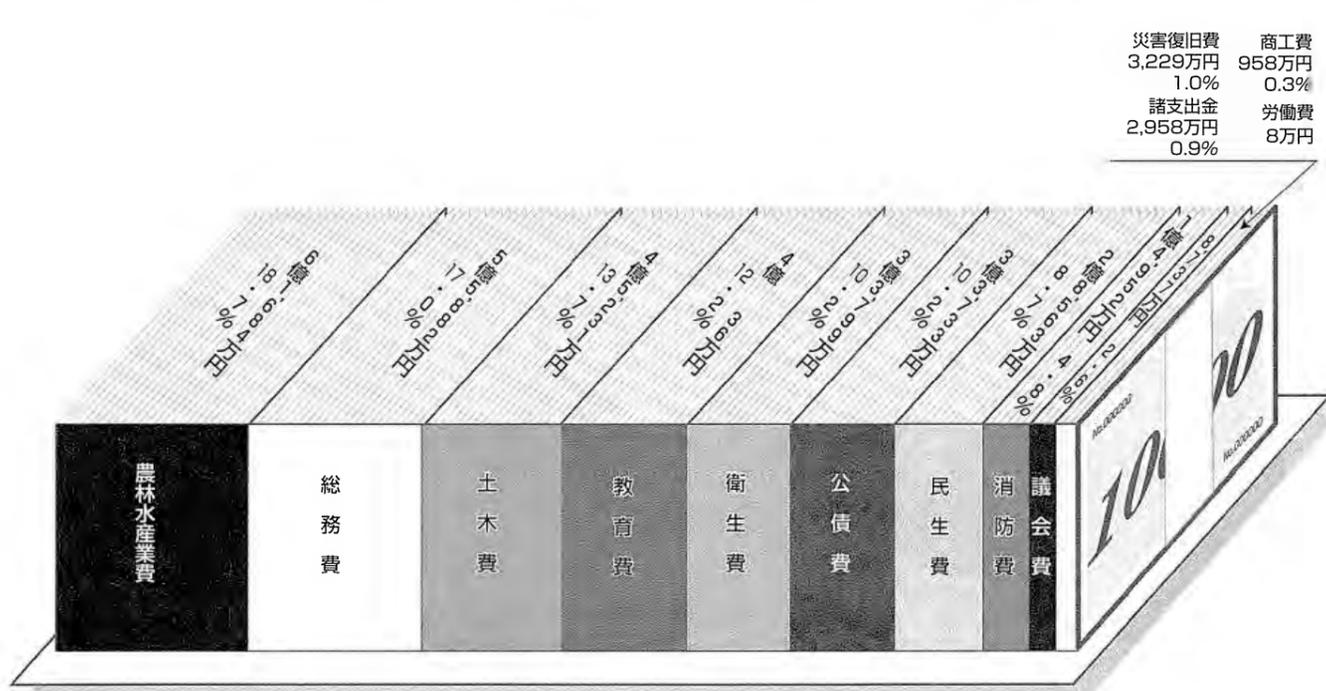
歳入決算額を自主財源と依存財源に分けてみると、自主財源は全体の30パーセントで6年度より4.1パーセン

歳出

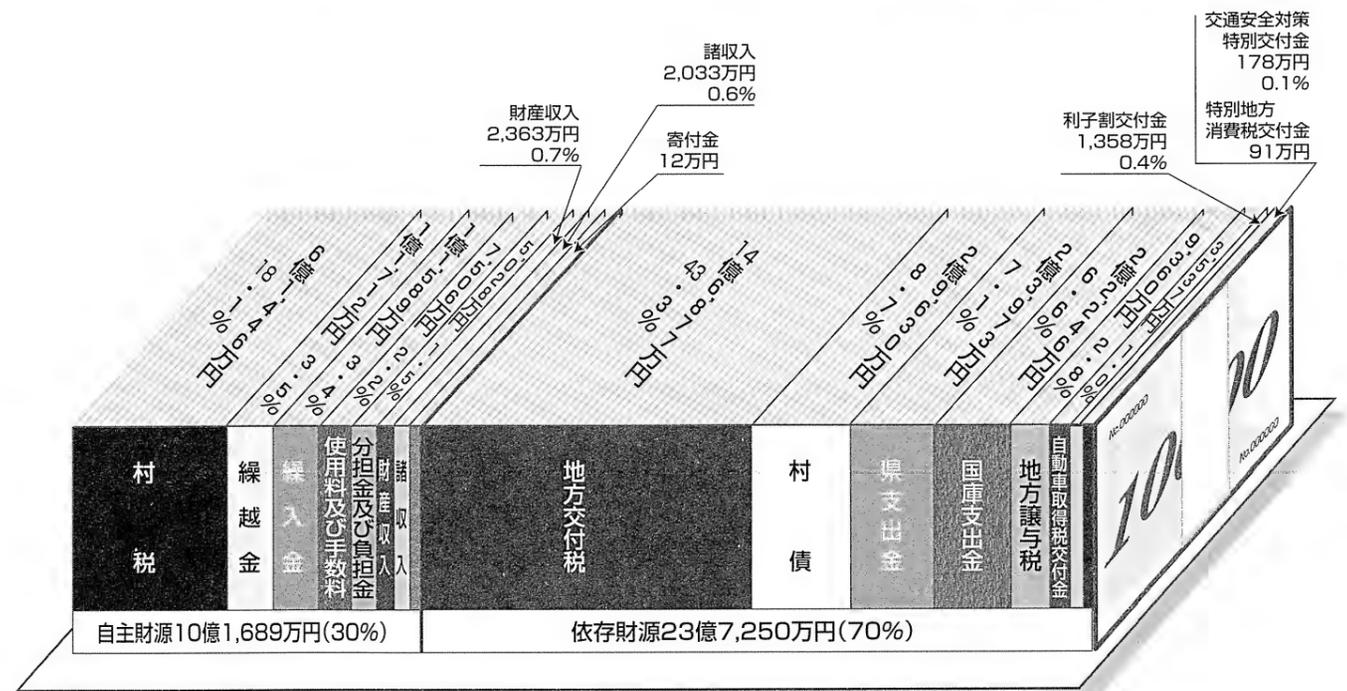
歳出の決算総額は、32億9,770万円で、6年度に比べ5億0,527万円、13.3パーセントの減となりました。これは、ふれあいセンター建設事業が完了したこと、から民生費が3億1,102万円の減、土木費が2億9,668万円の減などによるものです。

1人当たり約43万円使う

人口7,623人（平成8年3月31日現在）で、一般会計の歳出総額32億9,770万円を割り算してみると、住民一人当たり43万2,600円が使われたこととなります。一方、一人当たり納めた税金は、8万0,606円となっています。



村が使ったお金・歳出総額 32億9,770万円



村に入ってきたお金・歳入総額 33億8,939万円



祝日図書館永久保存記念祝賀会

国立図書館に永久保存 「清和流源氏一族」(曲山 勇著)

記念祝賀会を開催

10/5

曲山勇さん(岩法寺)の著書「清和流源氏一族」が国会国立図書館に永久保存登録されたのを記念した祝賀会がマウエラス末広で開催されました。同祝賀会は、曲山さんの友人らが世話人となって行われ、関係者が多数出席して曲山さんの快挙を祝いました。曲山さんは、通念上の歴史観に疑念を抱き、歴史研究を初めてから30年になります。「清和流源氏一族」は、昨年7月に出版されました。また、本年9月には、本村に縁の「伝説長慶天皇陵」を出版しました。なお、著書希望される方は、曲山さん宅電話〇二四七―五七―四三五八)までお問い合わせください。



小針 和章くん

第15回石川地区小体連 陸上競技大会

10/2

小針君(玉一小) 100mで見事優勝

石川地区小体連陸上競技大会は、石川中学校校庭で開催されました。石川郡内の

の小学校から児童が参加して男女別十種目の競技が行われました。競技の結果、玉川第一小学校6年の小針和章君が100m走で13秒48の記録で見事優勝。昨年、5年生100m走でも優勝しており、2連覇を達成しました。また、男子400mリレーで玉川第一小学校のチーム(曲山和宏君、真弓英樹君、斉藤丈典君、小針和章君)が56秒26のタイムで優勝を飾りました。



玉一小男子400mリレーのメンバー

- 「入賞」
- ◇5年女子400リレー 第2位 玉一小チーム
- ◇5年男子400リレー 第3位 須釜小チーム
- ◇女子ソフトボール投げ 第3位 小山田佳織さん(須釜小)

中体連石川支部新人大会

9/26

剣道・卓球で活躍

中体連石川支部新人体育大会は、石川町をメイン会場に熱戦が繰り広げられました。競技の結果、剣道団体で泉中(男子)が、また、卓球団体で須釜中(男子)が見事、優勝を飾りました。

男子剣道

- 団体優勝 泉中学校
- 個人3位 永林正博(泉中)
- " 小針 豪(泉中)

女子剣道

- 個人優勝 石森希美(須釜中)
- 団体2位 須釜中学校
- 個人2位 小針あゆみ(泉中)

男子卓球

- 団体優勝 須釜中学校
- ダブルス優勝 塩沢昌夫 塩沢徳之ペア

女子バレーボール

- 2位 須釜中学校
- 3位 泉中学校



石森 希美さん



塩沢徳之君と塩沢昌夫君

剣道の女子個人戦では、石森希美さん(須釜中)が優勝。また、卓球男子ダブルスで塩沢昌夫君、塩沢徳之君のペアが優勝を飾りました。

石森さんが優勝 剣道女子個人 塩沢ペア(卓球ダブルス)も制覇



泉中男子剣道部



須釜中男子卓球部

学校花壇コンクール

川辺小 須釜小が最優秀

9/1

石川地区小中学校長協議会学校緑化推進委員会石川支部の学校花壇コンクールが行われました。同コンクールには、石川郡内の小学校22校と中学校2校が参加しました。

審査の結果、小学校の部で川辺小学校と須釜小学校が、見事、最優秀校に選ばれました。また、玉川第一小学校が優秀校に、泉中学校が優良校にそれぞれ選ばれました。



須釜小の花壇



川辺小のパレード

交通安全を願って 鼓笛パレード 村内各小学校で実施

9/20 ~ 9/25

秋の全国交通安全運動の期間中である9月20日に川辺小学校、24日に須釜小学校と四辻分校、25日には玉川第一小学校でそれぞれ交通安全鼓笛パレードが行われました。石川警察署のバトカーを先頭に鼓笛隊の演奏と児童全員による行進が行われました。また、交通安全協会、交通安全母の会の役員も加わり交通事故防止を強くアピールしました。

よい歯の

コンクール表彰

7/26

平成8年度第2回「よい歯のコンクール」の表彰式が玉川村保健センターで行われました。

3歳児健康審査の歯科審査で虫歯のなかった子ども3名が表彰されました。

()内は保護者



吉村 華澄ちゃん (南須釜・忠幸)



小原 直希くん (南須釜・伸二)



円谷 香央里ちゃん (川辺・善孝)

豊かな心の育成のために 東京精工(株)が 図書券を寄贈

9/27

東京精工株式会社から村に図書券10万円分の寄付がありました。同社では、平成2年の創立20周年記念の際に、村内の各小中学校に「東京精工文庫」を設立。それ以来、毎年、会社の創立記念日に図書券の寄付をしてくださっています。村では、教育委員会を通じて、各小中学校へ配りました。





村民体育祭から

10月・11月の健康ごよみ

- 10月
- 22日(火) 機能訓練 保 受
午後1時30分~
 - 25日(金) 3歳児健診 保 受
午後1時
- 11月
- 7日(木) すくすくクラブ 保 受
午前9時30分~
機能訓練 保 受
午後1時30分
 - 8日(金) 乳幼児健康相談 保 受
午前10時~
1歳児お誕生健診 保 受
午後1時~
 - 13日(水) 母親教室 保 受
午前9時15分~
股関節脱臼検診 石 受
午後1時~2時

保:保健センター 石:石川保健所
受:受付時間

伝言板

青年海外協力隊員募集

青年海外協力隊は、国際協力事業団が実施している国の事業です。開発途上の人々の新しい国づくりのためにあなたの可能性を試してみませんか。

協力隊事務局では、平成8年度秋の募集として、農林水産から教育、スポーツなど約140種にわたる800名を募集しています。

説明会を開催

次により青年海外協力隊員募集の説明会を開催します。

◆日時: 10月30日(水)
午後6時30分~午後8時30分

◆場所: 郡山市中央公民館4F 第2講義室

◆内容: 派遣のシステムや待遇等について詳しく説明します。また、協力隊広報映画の上映や隊員OB、OGの体験発表もあります。入場料、予約等は不要です。

◆詳細な問い合わせ先: 二本松青年海外協力隊訓練所
(☎0243-24-3200)

麻薬・覚せい剤禍撲滅運動

実施中

平成8年10月1日から11月30日までは、「麻薬・覚せい剤禍撲滅運動」が実施されています。

麻薬、覚せい剤、向精神薬、シンナー等の乱用は、乱用者個人の健康上の問題にとどまらず、各種犯罪の誘因、その他公共の福祉に計り知れない危害をもたらします。

県民が一体となって、麻薬・覚せい剤等乱用による弊害の根絶に努めましょう。

インターネットで世界をのぞいてみませんか?

インターネットフェア開催

いま話題のインターネットを広く知っていただくために県では「インターネットフェア」を開催します。(入場無料)

◆日時 平成8年11月1日(金)~3日(日)

◆場所 郡山市片平町字山神館7-2 福島県ハイテクプラザ

◆内容 県中18市町村のホームページ発表
知事とのTV電話による対話
無料体験コーナーなど
☆市町村の名所や名物を紹介したホームページも、世界に向けて発表されます。

URL <http://www.asakanet.or.jp/~kenchu18/>

週40時間労働制のお知らせ

平成9年4月1日から、現在、1週間の法定労働時間が週44時間とされている猶予措置の対象事業についても、週40時間制が全面的に適用されます。

◆問い合わせ先 須賀川労働基準監督署
☎0248-75-3519

県民の日(仮称)制定懇談会の委員を募集しています

県では現在、県民の日(仮称)の制定を検討しています。

県民の日は、ふるさと福島を愛する心を育み、21世紀に向けてより豊かなふるさとを築き上げることを期する日として将来にわたって県民の皆様にも広く受け入れられることが大切と考えています。

そこで、県民の日の制定について懇談いただく「県民の日(仮称)制定懇談会」に県民の皆様のご参加をいただくため、委員の一部を公募することにしました。多くの方の応募をお待ちしています。

◆募集人員 14名以内
◆締め切り 10月31日
◆応募方法など詳しくは県庁県民生活課(☎0245-21-7178)または県中地方振興局県民生活課までお問い合わせください。

不動産取得税についてのお知らせ

土地や建物などを取得したときには、不動産取得税がかかります。

税額は、土地や建物ごとにその価格(固定資産税評価額)に4%の税率をかけた金額ですが、住宅や一定の要件にあてはまる住宅用土地の税率は3%になります。

なお、宅地の取得が平成8年中であれば、その価格の1/2に税率をかけた額になります。

また、一定の要件にあてはまれば、税額が軽減される特例があります。

例があります。左記にお尋ね

ふるさと11かわ 夢フェスタの開催

10月27日(日)午前10時から、石川町クリスタルパークにおいて、青年会議所主催の「ふるさと11かわ夢フェスタ」が開催されます。石川郡5町村の民族芸能や、物産展、スタンプリー等のイベントが実施されます。今回のイベントは、石川地方5町村の交流を目的としたもので、石川地方をもっと詳しく知る絶好の機会です。みなさんのご来場をお待ちしております。

寄付ありがとうございます

下記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

●小高の本田鶴一さんから	5万円
●中の平井八郎さんから	1万円
●中の小針清志さんから	3万円



(村社会福祉協議会)

村のようす

(8年10月1日現在)

戸数	1,722戸(±0)
人口	7,632人(+5)
世帯数	3,739人(±0)
単身世帯	3,893人(+5)

お誕生おめでとございます

(9月届出分)

地区	出生児氏名	保護者名
川辺	三瓶 遙斗	信 之一
〃	大竹 啓斗	賢 一
小高	我妻 謙太朗	浩 一之則
〃	吉田 みなみ	浩 則輝
中	高林 美咲	浅 輝
岩法寺	渡辺 夏希	貴 重
〃	村越 希翔	重 直
南須釜	小貫 翔太	直 俊

おくやみ申し上げます

(9月届出分)

地区	死亡者氏名	年齢	世帯主名
小高	本田 きよ	87	鶴 一
中	小針 甲子男	72	清 志
〃	平井 マサ子	53	八 郎

今月の納税

固定資産税 第2期
国民健康保険税 第4期
国民年金 10月分

【納期限は10月25日(金)です。お忘れずに納めましょう!】

玉川村短歌会佳作抄

阿武隈川の歴史に疎くも八十年脳裏に刻みつ瀬の音を聞く

公園の唐松林に渡る風気持ちも晴れて蟬を聞きおり

新しき水に取替え菊にしもあらむ言葉に耳かたむける

床掛の達磨の軸が恐ろしく隠れ眺めしわが幼なころ

朝明けに吹ゆる「武蔵」に起こされてそつと首出し座れの合図

村公民館

小針 登里

吉田 サヨ

溝井はなよ

小針 守次

小針 愛子

泉・須釜両中学校創立50周年記念特集 恩師を訪ねて⑤

佐久間喜和子先生

— 泉中学校に在職時代の思い出深い「あばい」は...
 「当時は情報化時代の幕開け。学校の目標に「カ月に一冊の読書」がありました。私は、担当で図書室の整備と読書指導に専念しました。最近卒業生のひとりから「読書の楽しさを知った」と聞きうれしくなりました。」



石川町出身。福島師範学校卒後、教職に。中谷中を振出しに石川小、浅川中、泉中(昭和42年~48年)、須賀川二中で教鞭を執り、昭和52年に退職。趣味は読書、音楽鑑賞、旅行。郡山市島1丁目23-22の自宅に夫と2人暮らし。

— 現在、玉川村に「福島空港」ができましたが...
 「玉川村を通ると村一帯に活気が漲っている、よい意味で一変したという感じですね。県の空の玄関口として、地域発展に繋がる賢明な選択であったと思います。」

「国語と社会でした。『まぶた閉じ浮かぶ生徒たちの顔々に教えし』との足らざるを詫び」
 — 当時の泉中の生徒、父兄はどんな印象でしたか。
 「生徒は明るく素直でした。一部に旺盛な反骨精神からくる「だんまり戦術」を発揮する生徒もあり、私自身、厳しい教師でしたから、それがかえって「やりがい」があったものでした。父兄の方々は、学校に対して全面的な信頼と協力

「当時の応援歌『白雲光る丘：ああ玉杯に花うけて』の替え歌」は、生徒会の要請による私の拙作でした。また、「生徒会の歌」の補作などもしました。非常に思い出深いことです。」

※このコーナーへの恩師のご紹介を募集しています。

を惜まず、私のような融通のきかない教師が事なきを得て勤務できたのもそのおかげと感謝しています。」

— 当時の泉中の校舎に思い出がありますか。
 「古い木造校舎でしたが、廊下はピカピカに磨きぬかれていますね。」

— その他の思い出は？
 「当時の応援歌『白雲光る丘：ああ玉杯に花うけて』の替え歌」は、生徒会の要請による私の拙作でした。また、「生徒会の歌」の補作などもしました。非常に思い出深いことです。」



シリーズ「たまかわの俗地名」

『かあばいと』の由来(岩法寺)

岩法寺の字名道嘉しやうしやと言われている所に、今でも「かあばいと」と地区の人達が呼んでいる所があります。話はさかのぼって、平安時代西暦一三〇〇年頃京都から白河の関までは、奥羽街道と呼ばれ、白河の関から浅川、石川、岩法寺を通って田中までが奥羽山街道と呼ばれていたそうです。田中から先、東は三春を、西は須賀川を通り最後は岩沼で合道。此の奥羽山街道が前玉川村収入役佐久間倉太氏宅の今の隠居付近を通っていたそうです。その山街道西側低い所

に清水があり街道を往来する旅人は水を飲むのに降りる姿が、カップが清水に入るように見えた所から言い伝えられていると聞きました。恐らく旅人達は、此の水を飲み元気を付け目的地に向かった事と思います。又旅数の多い人は、酷暑の時期などは、楽しみにしていた場所かもしれません。現在は、大正時代に救済事業で出来た旧玉川田村線で道路が高くなり清水の跡は小さい池になっており清水の面影は薄らいだ場所となっております。(須釜保明)

東京玉川会コーナー

心に残る 我がふるさと

『わが家の食卓と玉川』

東京都足立区 富張 マツヨさん

(中出身・小針ミサさんの2女)



娘の結婚式にて(左端が私)

小高小学校、泉中学校と通っていた子供の頃、大自然とのふれあいには恵まれていたが、食べものは、昆布の佃煮とか、玉子焼きも小麦粉で量を増やして兄弟で分けあったように思います。

子供が小さい頃、私は、保育園に勤務していたので、夏休みになるとカギツ子にする期間が長くなるため田舎に預けておりました。その頃、自然の中で食べたトマト、キュウリの味は、東京では味わえないと、今でも季節に送ってくる野菜を楽しみにしております。

いなご取りの授業が、いつもビリで、手拭いで作った袋いっぱい取って、ノートとか鉛筆を貰える人を羨ましく思いました。大嫌いな授業でしたが、東京に出て来て三十数年、いなごの佃煮が大好物です。珍味として高価なモノでなかなか手に入れることが出来ません。

近所の人にも裾分けをするのと味の良さ、うどんのコシの強さなど誉められるのが玉川村の自慢で、私の自慢です。自然に恵まれたふるさと

わが家の食卓は、今では玉川村がなくてはならないものです。米はもちろん、味噌、野菜、梅干し、釘屋さんのう

『玉川村』は、わが家の食卓嫁に行った二人の娘の食卓に欠かせないもので、宝物です。